

オオハクチョウ



オオハクチョウは、名前のとおり、コハクチョウよりも体が大きなハクチョウの仲間で、全長(体をまっすぐに伸ばした状態で、くちばし先端から尾羽先端までの長さ)が140cm、翼を開いた時の横幅が230cmもあり、水鳥公園に飛来する野鳥では最大級の鳥です。体重もコハクチョウが6kgなのに対し、オオハクチョウは10kgもあります。

オオハクチョウは主に北日本で越冬し、ハクチョウ類の越冬地のほぼ南限である山陰地方では少ない鳥です。平成25年頃までは、水鳥公園で見られるのは多くても10羽くらいで、コハクチョウが100羽いる中に1羽いるかどうか、という割合でした。

ところが近年では、10羽以上見られることも珍しくなくなり、平成28年3月4日には24羽も確認されました。そこで、環境省がインターネットで公開している全国のガンカモ類の調査結果から、オオハクチョウ

ウの飛来数の全国的な傾向を調べてみました。すると、水鳥公園が開園した平成7年度から平成27年度までに注目すると、オオハクチョウは緩やかな減少傾向でした。それなのに、なぜ水鳥公園への飛来数が増加傾向なのかは謎です。

オオハクチョウは、コハクチョウと比べると、くちばしと首が細長く、精悍な印象を受けます。例えるならば、オオハクチョウはカッコいいハクチョウ、コハクチョウ



オオハクチョウと比べると
かわいらしい印象のコハクチョウ

はかわいらしいハクチョウ、という感じです。また、鳴き声がコハクチョウよりも重低音なので、鳴いていれば存在に気付くことができます。そして、最もわかりやすい特徴はくちばしの模様で、オオハクチョウは黄色い模様が大きくて先端に向かってとがるのに対し、コハクチョウは黄色い模様が小さめで丸い形をしています。

今年も水鳥公園には最多で11羽のオオハクチョウが確認されています。早朝にはネイチャーセンターの目の前にいることがあるので、ぜひ土日祝日には早起きをして、早朝の水鳥公園でオオハクチョウを探してみたいかがでしょうか。

米子水鳥公園主任指導員 きりはら けいすけ 桐原 佳介



オオバン

2月に見られる生きものたち

鳥類：コハクチョウなどのハクチョウ類、マガンなどのガン類、オナガガモなどのカモ類、ダイサギなどのサギ類、オオタカなどのタカ類、カモメなどのカモメ類、カワウ、カイツブリ、オオバン、タシギ、シロハラなどの小鳥類 など。

2月の催し

世界湿地の日記念・自然観察会

「カモのプロポーズを観察しよう！」

まだ結婚相手が見つからないカモのオスたちが、一生懸命メスにプロポーズをしている様子を観察します。10日(土)午後1時30分～3時。対象：小学生以上がおすすめ。当日受付。集合：水鳥公園ネイチャーセンター。

世界湿地の日記念・手作り自然教室 「中海の恵みを味わおう会！」

2月2日の世界湿地の日を記念して、中海で採れる水産物をみんなで調理しておいしく味わい、湿地の恵みを体感します。18日(日)午前10

時～午後2時。対象：小学生以上定員15人・要予約。会場：水鳥公園ネイチャーセンター。

自然観察会「さよならコハクチョウ！」

生まれ故郷の北極圏をめざしてコハクチョウたちが旅立つ様子を観察します。3月3日(土)午前7時～8時30分。対象：小学生以上がおすすめ。当日受付。持ち物：暖かい服装でご参加ください。集合：水鳥公園ネイチャーセンター。

第23回米子水鳥公園絵画コンクール作品展

小学生が生き生きと描いた、好きな鳥の絵を多数展示します。なお、作品の審査には来館者の皆さんの投票

結果も反映されます。(審査投票期間：2月2日(金)まで)。～3月4日(日)。会場：水鳥公園ネイチャーセンター。

●米子水鳥公園の催しへの参加には入館料が必要です。手作り自然教室の参加費は、入館料を含めた大人・子ども一律の料金です。

●入館料は、高校生～69歳の方は310円、その他は無料です。

●水鳥公園のイベントは、とっとり県民カレッジ連携講座です。

■開館時間

平日：午前8時30分～午後5時30分
土・日・祝日：午前7時～午後5時30分

■休館日 毎週火曜日